

「多様性」「公平性」「包摂性」があり、 すべての人が尊重される社会をめざして



播磨町長
佐伯 謙作

新年おめでとうございます。
希望に満ちた令和8年の幕開け、皆様におかれましては、新春を健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。

さて、2025年は日本で万博が開催されました。「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに様々な国や地域の文化が交流するとともに、最新の技術が集まりました。「多様でありながら、ひとつ」という共生の価値観のもと、脈々と受け継がれてきた伝統や文化を、より良いカタチで未来につなげていこうとするとても素晴らしい歴史的な祭典だったと思います。依然不安定な国際情勢や気候変動による大規模な自然災害、今なお続く物価高騰による国民生活への影響など、課題もたくさんありますが、何かが変わりそうな、そんな予感がする年でもありました。

播磨町におきましても、児童発達支援センターを開設するなど、福祉の拠点として「総合福祉センター」の機能充実を図るとともに、国から「地方版孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム」の採択を受け、誰ひとり取り残されないまちをめざして、切れ目のない体制の構築に取り組んできました。

また、人権尊重のまちづくり条例を制定し、誰もがぬくもりを感じ、心が通い合うまちづくりを進めています。

そして、今年、「第5次播磨町総合計画」が折り返しを迎え、後期基本計画がスタートします。多様性・公平性・包摂性が尊重され、すべての人が個性を活かして共生できる社会を実現するために、まちの将来像「いいとこいっぱい！笑顔いっぱい！みんなで作るふるさと はりま」をめざして、様々なことにチャレンジしてまいります。

令和8年は午年です。子年から数えて七つ目。そう、干支もちょうど半分か過ぎました。大地を颯爽と走る駿馬のごとく力強く駆け抜け、新しい道を切り開きます。

笑門来福。本年も皆様の笑顔があふれ、幸せいっぱいになる年になりますよう、心よりお祈り申し上げます。

強くしなやかな議会を目指して



播磨町議会議長
岡田 千賀子

播磨町議会を代表し謹んで新春のごあいさつを申し上げます。

今年の干支は60年に一度めぐってくる「丙午（ひのえうま）」です。「丙」は太陽の強い光を意味し、「午」の字は「杵（きね）」に由来し、杵の力で、お米がねばり強い餅（もち）になるように勢いや交差を象徴する縁起の良い漢字とされ、大地を駆けける午（馬）も力強くしなやかな存在です。この2つの勢いが重なり合う2026年は、情熱や行動力が高まる年と解釈され、長引く不況を力強く駆け抜けていく事を願うばかりです。

議会では、議会基本条例の検証、研修会等でさらなる自己研鑽も重ねながら議会力の向上に努めています。

また議会報告会や各種団体との「議会と語ろう会」、小学校への出前講座「議会の仕組み」、高校生との意見交換会「播磨南高校と播磨町を考える会」など様々な取り組みを実施しています。これからも皆さまの声をしっかりと受けとめ、これまで以上に一層の創意と工夫でワンチームとなって課題に全力で取り組み「強くしなやかな議会」を目指して行きたいと決意を新たにしております。

結びに、丙午のめぐりが、皆さまの新しい1年の背中を押してくれる希望あふれる年となりますよう心より祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

あけまして
おめでとう
ございます

議長 岡田千賀子
副議長 河野照代
議員（議席順）

細田武男
大北良子
宮宅 良
板谷良祐
竹内基就
奥田俊則
神吉史久
藤原秀策
大瀧金三
木村晴恵
浅原俊也

公職選挙法により、政治家は、年賀状などのあいさつ状を出すことが禁じられています。ご理解とご協力をお願いします。